

兼ねてより社会福祉法人制度改正が言われてきましたが、いよいよ来年4月、待ったなしです。

度々の法律改正や3年毎の報酬改正があると、目まぐるしく変わる情勢についてゆけない感がせずにおれませんが、当法人は児童福祉法、障害者総合支援法、介護保険法、社会福祉法とそれぞれに関与しております。ゆえに一つの制度が変わるたびに、全体バランスを見ないとガバナンスを保つことが難しいです。

ところで、頻発している地震災害においても、南海トラフによる津波、地震、伊方原発による災害に遭い易い地域であります。4月の熊本、大分地震で災害に見舞われ被害を被った施設には衷心よりお見舞い申し上げます。私達の地域迄地震が及びませんでしたが、近隣の別府・由布の施設は、かな

# 社会福祉法人の今後を考える！

りの被害をこうむっております。本当に大変なことであります。また7月下旬に起きた障害者支援施設での殺傷事件、耳目を覆いたくなるような事件が起こりました。欧州や中東での頻発するテロ事件、中国の海洋進出、北朝鮮のミサイル問題、枚挙にいとまがない程のリスクが一気に増加しました。これも止める事が不可能に近いぐらいの事件ばかり、誰が世界を統治していくのか！ 本当に先の見えない社会になってきました。そのような中で我々社会福祉法人は、どうあらねばならないのか？ 地域の中でホッとできる場所になりえるのが、今後問われてくると考えられます。

現在、会社の内部留保問題（余った留保金は株主に戻し再投資して経済貢献）が盛んに言われております。同時に、社福の内部留保問題も正に同じで

あります。今度の制度改正の情報公開、余裕財産の在り方、地域貢献事業等々ガバナンスにおいては企業と同じ扱いになる訳です。国は一億総活躍社会を云い、余裕財産を使い、雇用、投資、産業創出という景気優先が垣間見えます。今後景気が下り坂になる事は許されないので。景気悪化の先に見えるものは！？

当法人は会計監査人を置く必要のある法人に現在あたります。つまりイコールフィッティングになっても耐えられる法人になっていかなければならぬのです。結局、3Kと言われている農業や建築業と同じで、ICT化やダイバシティ化を取り入れ、ある程度の規模法人を目指すような仕組みづくりが、社福制度の一部改正であると言っても過言ではありません。

その様な事を視野にいれながら前向きに法人理念に沿って行く所存であります。

(大木)



いち押し工房全景



花のように“優しく 誠実に”

みのり 第93号 掲載内容	
● 巻頭言	1P
● オープン、式典、イベント	2P
● 視察・研修会	3P
● 法人行事	4P
● 老人福祉施設	5P
● 入社式・新人研修会	6P
● 収支決算	7P
● 事業・お知らせ	8P

### 経営理念

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし地域・社会より愛され、認められる法人をめざし社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

みのり第93号  
平成28年(2016)8月2日発行

---

[発行者] 社会福祉法人 みのり村  
[印刷] 株式会社 クリエイト

# いち押し工房オープン式

みのり村「いち押し工房」がオープンしました。

運営は「ワー

キケンター「誠」に委託します。

式典にあたり理事長より、「障がい者の働く場として、皆さんが楽しくイキイキと活躍して下さい」と挨拶されました。続いて、来賓の県立日出支援学校工藤雅道校長先生よりご挨拶を頂きました。



決意表明する阿部真里子さん



いち押し工房では6次産業を目指し、村内で栽培された果物や野菜を材料にトマトジャムやパン、ジュース等の製造を行います。安心・安全な品物の提供に努めますので、皆様是非ご賞味下さい。

(5月20日(金))

いち押し工房で就労する一人ひとりに理事長より辞令を渡されました。代表の阿部真里子さん、安部幸千代さんは、「新しい工場です、ありがとうございます」と決意を述べました。



トマトジャムを試食

工場では法人が運営する障害福祉サービス事業所「ワークセンター「誠」」の利用者が働く。材料は全て法人敷地内で栽培した野菜や果物を使う。

大分合同新聞 H28.5.24 掲載

## セタコンサート!!

パブリックホールにて、iichiko 総合文化センター大分県芸術文化スポーツ振興財団が主催する「おでかけクラシックコンサート」が開催されました。

日本の四季の歌やクラシック、うっとりとしたソプラノの歌声に魅了されました。ご利用者も一緒に口ずさみながら楽しみ、素晴らしいセタコンサートとなりました。

(7月7日(木))



歌声にうっとり



最左) 中山欣吾東京二期会理事長、県立芸短大学長と共に

## 「福ろう」一周年記念式典

杵築市のまちかど交流サロン「福ろう」開所1周年祝う。高齢者らがカルチャー教室などを楽しくまちかど交流サロン「福ろう」(杵築市杵築)が1周年記念式典を開いた。

式典では、サロンの運営する社会福祉法人「みのり村」の大石悦生施設代理らがあいさつ。利用者代表の矢野政行さん(92)市内杵築・顔写真が「この1年、サロンに利用できるのがうれしい」と話し、

卓球や将棋、料理などのカルチャー教室(10教室)の利用者がそれぞれ活動のPRし、1年間を振り返った。料理教室生らが作った団子汁やちらしも振る舞われた。介護予防サポーター「ねこの手」によるオカリナや鼻笛演奏もあった。

サロンは日曜と祝日を除く毎日午前10時〜午後3時まで開いており、市民なら誰でも利用できる。

活動PRを聞く出席者

大分合同新聞 H28.4.22 掲載

菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」が一年を迎え、当ホー



各教室の成果発表

(4月16日(土))

# 宮崎県児湯郡木城町役場様(10名) 高齢者福祉部で 研修をされました。

木城町役場の方々10名がデイサービスセンターと、ユニット型特別養護老人ホーム等を視察されました。始めに当法人の在宅部門について各担当者から説明をしました。木城町は人口約5200人の小さな町で、高齢化が進んでいるとの事でした。参加者は高齢者に安全で安心した生活を支えるために、真剣に聞き入っていました。デイサービスセンターでは生活機能訓練室を体験されました。2時間余りの研修でしたが、大変有意義な研修だったと喜んで頂きました。在宅部門を参考に研修をされました。

(7月19日(火))



木城町役場の皆様と一緒に



生活機能訓練室で体験



# 日出町藤原地区(9名) 民生・児童委員協議会 事業視察

日出障がい福祉部へ日出町藤原地区民生・児童委員協議会の方9名が事業視察に見えまし

はじめに、「みのり村の今」をDVDにて紹介し、就労支援と相談支援について各担当者



民生委員・児童委員の方々

者が説明しました。その後、各事業所を視察、皆さん熱心に担当者の話に耳を傾けられ多くのご質問を頂きました。みのりスマイル視察の際は、販売品をみて、トマト等の野菜が「新鮮で安い」と大好評でした。

アンケートでは、「何といっても利用されている方の笑顔が印象的だった。」「これを機にもっと連携を深めていく必要を強く感じた。」等貴重なご意見をたくさん頂きました。

より良い支援を目指すには、今後も地域の関係機関との連携を密にしていくことが大切だと感じました。

(7月6日(水))

# 第15回福祉QC研究発表会開催

福祉QC研究発表会が日出障がい福祉部のホールで開催され、各部の代表サークルが発表しました。今回も障がい者支援施設、高齢者施設、障がい福祉サービス事業所より6グループが日頃の研究成果を発表しました。



他グループの発表も参考になります

審査結果は次の通りです。

## 最優秀賞

○日出部 虐待防止・サービス改善委員会「サザエさん一家」

「人が人を大事にするために」

「私たちの意見を見直そう」

## 優秀賞

○日出部 業務推進委員会「シャロット」

「資源の活用と継承」

○ワークセンター誠「Team誠」

「選んでいただけるとの事業所を目指して」

○菩提樹施設サービス課「ゆきユニット」

「Happy Life」

「生活リズムの改善とレクリエーション」

## 優良賞

○白萩園 感染防止委員会

「感染拡大の実体験をもとに」

○菩提樹 在宅支援課「菩提樹デイサービスセンター」

「要介護状態からの脱却」

「以前の生活に戻る為の体力の向上に向けて」

(2月24日(水))

# 熊本福祉避難所 応援壮行式

熊本地震の応援に菩提樹の阿部和大ケアワーカー(23歳)が災害派遣されることになり辞令交付式が行われました。

理事長から、「今回、自ら支援を希望し、熊本の被災した方々のために尽力したいとの気持ちを大切にして、頑張つてほしい」と激励があり、阿部ケアワーカーからは、「現地の方々の支えになれるように頑張つてきます。」の決意表明がありました。

今回の派遣は、熊本県社会福祉協議会からの依頼によるもので、派遣期間は7月10日から7月26日迄、派遣先は熊本県益城郡御船町の避難所です。



(7月8日(金))



## いつもありがとう 母の日・父の日 感謝式

日出障がい部みのり学園で「母の日」と、杵築障がい福祉部白萩園で「父の日」感謝式があり、ご利用者代表から感謝の言葉とお花が贈られました。



母の日 お花を贈ります



父の日 作品を手に



## 第35回 供養盆踊り大会

最初に熊本地震での犠牲者を悼み、黙禱を捧げました。地域並びに施設御利用者の霊前(25名)を供養し、地元有志による太鼓、音頭にあわせてたくさんの輪ができ盛会でした。最後はお楽しみ抽選会と共に、暮れゆく夏を惜しみながら散会となりました。

(8月27日(土))



## 食中毒防止 講習会の開催

本部で、川本寿万子氏(大分県東部保健所)を講師に招き、食中毒防止講習会を開催しました。

調理・配膳従事者、新人職員等をはじめ多くのスタッフが参加、食中毒を事前に防止し、安心安全サービスを提供するにあたりアドバイスを頂きました。また地震も頻発していることから、災害時のアドバイスもあり参加者は熱心に聞き入っていました。

(6月14日(火))



2016/6/14

## 第35回 みのり村つつじ祭り開催 テーマ「みんなが主役、はじける笑顔」

ステージでは音楽、歌、じゃんけん大会等、施設内では利用者さんが製作した絵画や陶芸、生け花などの展示、敷地内ではえむほカレー、パンや農産物の販売がありました。(4月29日(金))

歌や踊りなど披露  
つつじ祭り盛大に  
杵築市の「みのり村」  
杵築市日野の社会福祉法人「みのり村」(大木隆理 理事長)は、「つつじ祭り」を開いた。つつじが見頃となる時季の恒例行事で、33回目。



じゃんけん大会で盛り上がる来場者



絵画・陶芸・生け花の作品

「ましよう」とあいさつ。ステージでは、利用者らでつくる音楽サークルが歌や踊りを披露。じゃんけん大会などのイベントもあり、地域住民や利用者ら約900人が楽しんだ。  
利用者が制作した絵画や陶芸、生け花などの作品展示のほか、敷地内の農園で育てた花や野菜の販売もあった。

大分合同新聞 H28.5.12 掲載

## 厚生労働省老健局 佐藤守孝課長様 視察

厚生労働省 老健局 高齢者支援課 佐藤守孝課長様が当法人を視察されました。

佐藤課長は九社連老人福祉施設協議会で講演、次に当施設を見学されました。ユニット型特養、総合支援事業、ボランティアが運営される「まちかど交流サロン」そして障がい者施設等を熱心に視察されました。お忙しい所有り難うございました。(2月19日(金))



まちかど交流サロン「福ろう」にて



障がい者施設にて

## 九社連 老人福祉施設協議会 施設長研修会【大分大会】

平成27年度九社連老人福祉施設協議会施設長研修会 大分大会が、大分市内のホテルで約500名が参加し開催されました。当施設から施設長他7名が参加。「中央情勢報告」「社福に求められる社会貢献活動」等について傾聴しました。

大木理事長が大分県老人福祉施設協議会会長として挨拶されました。県内外の参加者と、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。(2月18日(木)・19日(金))



各県会長



挨拶される理事長



## 祝 当選 (参議院全国比例区)

### 園田修光氏

(全国老人福祉施設協議会推薦)



園田議員の奥様(前列右から3番目)を囲んで

## お二人の百歳 おめでとうございます

菩提樹では河野節子さま、三好フジエ様が百歳を迎えられ、大分県知事より感謝状が贈られました。



河野節子様(左)と三好フジエ様

これからもお元気で!



辞令交付式の様子

# 新人職員入社式と 辞令交付式

新人職員入社式と、辞令交付式が、本部パブリックスペースにて執り行われ、理事長より1人ひとりに辞令が交付されました。今年度の新人職員は9名、それぞれの配属先での勤務が始まります。若い力を思う存分發揮して、立派な社会人を目指してください。  
(4月1日(金))

ひらの なな

①平野 奈那  
②第1みのり学園  
③物事に対して納得するまで向き合うところ  
④友達と長電話でストレスを発散

はら ゆうた

①原 優太  
②第1みのり学園  
③几帳面なところ  
④過去に見た映画やドラマのDVDを収集する事

## 新任職員紹介

新年度10名の方が入社されました。皆さん宜しくお願ひ致します。

①名前 ②配属先 ③長所  
④最近ハマっている事

つばた あおい

①坪田 葵  
②第2みのり学園  
③あまり体調を壊さず、健康でいる事  
④カラオケに行く事

あおき としき

①青木 舜輝  
②白萩園  
③物事を長く引きずらない  
④紅茶を飲むこと

あんどう りほ

①安藤 理保  
②白萩園  
③負けず嫌いなところ  
④最近飼ひ始めた子猫と一緒に遊ぶこと

かわべ はづき

①川部 葉月  
②白萩園  
③明るい所  
④映画鑑賞(ジャンルは恋愛系からディズニー、ジブリ)

きたざき ちひろ

①北崎 千裕  
②菩提樹  
③創作を楽しんで頂く為に創意工夫する事  
④プラ板でキーホルダーを作る事

まつもと まさのり

①松本 真典  
②菩提樹  
③笑顔、人に優しい所  
④友人と行く温泉めぐり、ショッピング

あらまき

①荒巻ひとみ  
②日出部総務課  
③コツコツと頑張るところ  
④休日に温泉に入ってリラックスすること

## 新人職員研修

今年度入社した職員を対象に、第1回新人職員研修会を開催。  
今回は接客、電話応対等で、社会人として必要となる基本的な知識やスキル、責任ある行動習慣などを1年間で身に付けてもらう事を目的とします。  
(7月19日(火))



わきや あやか

①脇谷 綾香  
②本部  
③笑顔をわすれないこと  
④ドライブで日帰り旅行に行く事

# 平成27年度 収支決算

貸借対照表の要旨 (単位:千円)	
科目	金額
資産の部	
流動資産	1,150,277
固定資産	1,813,554
その他の固定資産	2,272,258
資産の部合計	5,236,089
負債の部	
流動負債	55,290
固定負債	201,981
負債の部合計	257,271
純資産の部	
基本金	544,867
国庫補助金等特別積立金	736,991
その他の積立金	1,681,784
次期繰越活動増減差額	2,015,176
負債及び純資産の部合計	5,236,089

事業活動計算書の要旨 (単位:千円)		
	科目	金額
増減	サービス活動収益	1,561,439
	サービス活動費用	1,321,486
	サービス活動増減差額	239,953
増減	サービス活動外収益	15,739
	サービス活動外費用	765
	サービス活動外増減差額	14,974
特別増減	特別収益	176,221
	特別費用	176,221
	特別増減差額	0
当期活動増減差額		254,927
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	1,896,500
	当期末繰越活動増減差額	2,151,427
	基本金取崩	0
	その他の積立金取崩	500
	その他の積立金積立額	136,751
次期繰越活動増減差額		2,015,176

資金収支計算書の要旨 (単位:千円)		
	科目	金額
事業活動による収支	事業活動収入	1,578,157
	事業活動支出	1,221,251
	事業活動資金収支差額	356,906
施設整備等による収支	施設整備等収入	0
	施設整備等支出	159,256
	施設整備等資金収支差額	-159,256
その他の活動による収支	その他の活動による収入	176,724
	その他の活動支出	320,644
	その他の活動資金収支差額	-143,920
当期資金収支差額合計		53,730
前期末支払資金残高		1,040,874
当期末支払資金残高		1,094,604

## 老人はげみの里見会 ～車いす寄贈

車いす3台を寄贈して頂きました。  
大切に使用させていただきます、有難うございました。  
(4月13日(水))



寄贈された車いす

平成13年に「緑の森つくり事業」で桜の記念樹をして今年で15年になります。年毎の桜の杜の成長は、私たちを楽しませてくれます。高台には、休憩スポットがあり遠く別府湾を見下ろせます。見頃にはお花見スポットとして、散策として、施設をご利用される皆さんと職員とのふれあいの場でもあります。これからも「桜の杜」は高台から村を見守ってくれることでしょう。  
(4月5日(火))



満開の桜の木の下で記念写真

## 桜の杜15年目

### 総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- 特別養護老人ホーム 菩提樹
- ショートステイ事業
- 菩提樹デイサービスセンター  
「風と樹々と空と」
- ケアプランセンター ぼだいじゅ
- ホームヘルパーステーション ぼだいじゅ
- 配食サービス
- 在宅介護支援センター ぼだいじゅ
- えむほ ガーデン
- 障がい児入所施設 第1みのり学園
- 児童発達支援センター「プリンちゃん」
- 障がい者支援施設 第2みのり学園
- 障がい者支援施設 白百合園(女性)  
障がい福祉サービス事業所
- みのりスマイル
- 総合相談支援 M・プラザ HIJI
- 障がい者支援施設 白萩園
- 障がい福祉サービス事業所  
ワークセンター「誠」
- みのり村 いち押し工房
- グループホーム みのり村
- 総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- みのり村介護・福祉タクシー
- 菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
- 認知症カフェ ふくろう茶屋

**障がい児から就労、そして  
老後までの安心トータルサポート**

### 編集後記

買物帰りの書店で、「心を揺さぶる88の名言～いい言葉が人生をひらく」が目についたので、手にした。その一人 勅使河原宏氏(草月流家元)は千利休の言葉「花は野にあるように」を次のように解釈されている。「それは自然界から切り取った植物は、ただそのままの状態です挿せばよいと受け取る人が意外に多いのだが、これは間違いだ。当時、貴族・武家社会に流行した立華が型式一点張り、すっかり新鮮さを失っていた状況に利休が反撥し警告した言葉ではないかという～自然界の植物はそれぞれ独自性を持ちながらも見事に共存しているという、活け花もそのように空間と調和せよ、というのが教えなのだ。」私は、人間も自然と共存し自然を支配してはいけないという警告のように思えた。皆さんは如何思われますか?

編集・発行/本部総務人事課

〒873-0013  
大分県杵築市大字日野1921の7  
TEL 0976-66-1200  
FAX 0978-62-2974  
URL <http://www.minorimura.or.jp/>  
メール [info@minorimura.or.jp](mailto:info@minorimura.or.jp)

※写真掲載等には、  
ご本人の了解を得ております。

## 介護職員初任者研修事業 開講式



受講生に説明する職員

平成28年度の開講式が7月29日に行なわれました。受講生は約5か月間、介護の知識・技術、また高齢者の方々のふれあいの中で、接し方や介護・福祉の考え方を学びます。

(7月29日(金))

## 白萩園事務所改修工事終了



広くなった事務所

白萩園では事務所のリフォームを行いました。事務所とスタッフルーム間の廊下の壁を一部撤去し、床面積を広くしました。施設長室も兼ねており事務所内の連携がスムーズに行うことができるようになりました。

(8月1日(月))

### お知らせ

**いきいきと働く姿が  
掲載されました**

職員全員が助け合い、生涯いきいきとやりがいを持って働ける職場であるとのことで高齢者雇用総合誌「エルダー」2016年4月号に掲載されました。

掲載内容:「高齢者の現場 北から、南から」  
内容はホームページ「情報公開」の「広報」欄をご覧ください。



## 平成27年度 資格取得者一覧

所 属	氏 名	資 格 名
白萩園	田 邊 美代子	精神保健福祉士
白萩園	三重野 愛 美	介護福祉士
ヘルパーステーション ぼだいじゅ	岩 尾 節 子	介護福祉士

## 平成28年4月1日付 人事異動 (課長以上)

施設名・事業所	氏 名
第1みのり学園・第2みのり学園・ 白百合園 施設サービス課長	児 島 喜代子
菩提樹 副施設長	榮 木 たまみ
ワークセンター「誠」所長	尾 花 孝 也
白萩園 施設長	河 野 節 二
高齢者福祉部 施設長代理兼本部参与	大 石 悦 生